



あさり

～夢と自信と地域への思いを育む学校を目指して～

- 進んでかかわり 共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子

小樽市立朝里小学校
令和5年度
学校便り

第9号
2023.11.30 発行

家族団らん・一緒にスクリーンタイムを考える

校長 岡田 貴幸

前日のオンラインゲームが原因で、朝の玄関でけんかになる子。夜遅くまでの動画視聴や SNS の利用で、起きられずに遅刻・欠席になってしまう子。長時間にわたる継続した画面の見過ぎによる視力の低下。これは身近で起きている切実な問題です。

スクリーンタイム（ゲーム・携帯電話・PC・テレビによる SNS や動画視聴等に費やす時間）を短くすることの目的は、子どもたちの体調・生活習慣を整えることです。体調・生活習慣を整えることで子どもたちの生活は充実し、落ち着いた気持ちで学習にも集中でき、豊かな未来にもつながるでしょう。友だちとの関わりにおいても同じです。体調・生活習慣を整えることで、優しい気持ちで友だちに接することもできます。

本校の子どもたちのスクリーンタイムは長い。8月アンケートで「4時間以上使っている」と回答した全校児童における割合は17.8%で、内容的には、動画視聴・携帯電話での SNS ・ゲームが圧倒的に多い。4時間以上ですから、5時間6時間、もしくはそれ以上という子もいます。

子どもたちが落ち着いて生活できるように、改善していきましょう。

スクリーンタイムに関わるアンケート2回目（11月）から感じたことがあります。それは……、

スクリーンタイムに関するアンケート結果（全校分）	8月アンケート	11月アンケート
一日1時間以内としている	16.6%	24.2%
一日4時間以上使っている	17.8%	8.4%

☆子ども達、ご家族、私達職員が意識して関わることで、スクリーンタイムは減らすことができる。

「帰宅後、家でどのような遊びや時間を過ごすことでスクリーンタイムを減らせるのか一緒に考えました。」「家庭学習の時間の見直しと、家族団らんの時間」の話をしました。」先生方が今回のアンケート前にクラスで指導したことの一部分です。キーワードが見えてきます。家族団らん、一緒に考える。子育て世代がお忙しい事は重々承知の上で、お願いします。お子さんとの時間を作って、一緒に話をしてください。子どもたちが日常的に使用する機器のペアレントコントロールはもちろんのこと、何にどれくらいの時間を費やしているのかをしっかりと把握しましょう。そして、定期的に、その関わり方について一緒に考えてください。

体調・生活習慣を整えることは、多くの問題の未然防止につながり、子どもたちが笑顔になります。子どもたち、ご家族、私達職員が意識して関わることで、スクリーンタイムを減らしていきましょう。

ひとみ キラキラ

自分事として考え、

進んで行動する朝里の子の育成

R5年度重点目標

※スクリーンタイムに関わる各学年の詳細は、後日配布のほけんだよりをご覧ください。